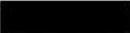


# 放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID		検査	CT	4F 東
NAME		依頼医	院内 外科 	先生
年齢	78Y	放射線科		
性別	M	備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2011年04月26日		紹介目的・既往歴・家族歴	

## <臨床情報>

H22 9月 MK perforation ope 後(大網充填)

H22 10月 TS1 開始

H23 4月 TM

meta, Ascitesなど check

## <画像所見>

胸部腹部骨盤部CT

前回検査2011年3月11日と比較しています。

左右胸水の貯留が認められ前回検査に比べて所見は増量しています。所見は左右対称的に描出されており、胸水の量に比較して無気肺の容量は少ないと考えます。溢水/心原性の胸水を疑います。採血結果/心機能の所見も加味して下さい。

左右肺野にびまん性の気腫性変化が認められ肺気腫/COPDを反映した所見と考えます。

左右肺野に転移を疑わせる結節性陰影の所見は明らかではありません。縦隔リンパ節に石灰化の沈着を伴う軽度の腫大が認められますが、過去の炎症後に伴う所見と考えます。

食道に明瞭な病変の所見は明らかではありません。

胃体部前壁に厚さ26mm大の壁肥厚の所見が認められ、指摘されている原発病変の所見と考えます。3月11日に比べて強い増大傾向が認められ、原発病変は増悪していると考えます。腫瘍マーカーの推移と照らして下さい。

胃周囲リンパ節に転移を疑わせる病的な腫大の所見は明らかではありません。

肝臓に多発する低濃度領域が認められますが境界明瞭で内部は均一な濃度を呈しています。嚢胞を疑わせる所見と考えます。

肝臓に転移を疑わせる腫瘍性病変の所見は明らかではありません。

膝尾部に直径18mm大の低濃度領域が認められますが所見は前回検査と同等です。仮性嚢胞/貯留嚢胞を疑います。

右腎臓下極に楔状の造影不良と表面の陥凹像が認められ陳旧性腎梗塞後を反映

した所見と考えます。所見は前回と同等です。

胆嚢背側は高濃度を呈して認められ微細な胆石/debrisを反映した所見と考えます。胆嚢頸部に壁肥厚と良好な造影効果が認められています。ポリープ等を疑いますが胆道系の腫瘍マーカーも加味して下さい。

上腹部/傍大動脈/骨盤内リンパ節に病的な腫大は明らかではありません。

腹腔内脂肪組織に不整な濃度上昇は明らかではありません。積極的に腹膜播種を疑わせる所見は明らかではないと考えますが、少量の腹水が認められています。量は3月11日と同等ですが原因は不明瞭です。量についてフォローアップとして下さい。

#### <Impression>

左右胸水の貯留に増悪が認められています。対称性の所見から溢水/心原性を疑います。採血結果/心機能の所見も加味して下さい。

胃体部前壁に原発病変を疑わせる壁肥厚の所見が認められています。3月11日に比べて所見は増悪しています。腫瘍マーカーの推移と照らして下さい。

肺転移/肝転移/リンパ節転移を疑わせる所見は明らかではありません。

多発する微細な胆石の所見が認められ胆嚢頸部の壁は軽度肥厚を呈しています。胆道系の腫瘍マーカーの所見も加味して下さい。

少量の腹水の貯留が認められています。量についてフォローアップとして下さい。

別紙の参照画像をご覧下さい。

読影医: 土本 正 印 報告日: 2011/4/27

患者ID



検査日 2011年04月26日

4F 東

患者名

依頼医 院内 外科 [Redacted] 先生

NAME

備考

年齢 78Y

性別 M

検査 20

参照画像

